

目的 第1報で年令的発育段階の傾向を知ることが出来たが今回は被服製作を指導する際の針の長さ、刺しゅう枠の大きさとの関連を知るために右手長径15項目厚径3項目左手長径9項目厚径1項目と身長体重胸囲計31項目について計測した。

方法 昭和47年5月 首都圏に在住する勤労者家庭の健康な女子19才100名を対象として計測を行った。計測項目は第1報の14項目と右手の第IV、V掌側長第III指中間長指先長手背側第I・II指長手掌側X点より第I・II指先端左手の手長第I～V指掌側長手背長第I・II指間指股厚と胸囲の17項目計31項目である。

結果 (1)右手左手の手長第I～V掌側長手背長間の計測値による有意差が認められなかった。(2)身長と手長手長と手部各長径項目間には相関が認められたが、体重胸囲と手部各厚径項目にはあまり認められなかった。(3)短針で選針する場合、関係する第I、II、III指の長径は手長と相関が高い、指背面より第I、II指先端と第III指掌側長第III指掌側長とX点より第I・II指先端まで、X点より第I指先端と第I指掌側長、X点より第II指先端と第II指掌側長は、それぞれ相関が認められよって針の長さを選ぶ時これらの長径が関係する。(4)左手に枠を持って、第I・II指間より第III指先端が枠中央に届く大きさを基準とすると、直径12・15cmの枠は100%、18cmは64%が使用できるが第I指先端が枠中央に届くことを考慮すると12cmの枠でも使用できない。しかし枠面の刺しゅう箇所、stitchの種類により持ち方を変えて指先を最大限に伸ばした場合第I指を基準とすると12cm、第III指を基準とすると12～18cmの枠までが100%使用できる。